

シクロクロス東京 2014 レースレポート

パナソニックレディース 豊岡英子



日時 2014年2月9日(日)

天候 晴れ

場所 東京 お台場海浜公園

結果 2位

3年目の東京シクロクロス。過去2年間は優勝している。

まさかの大雪が日本を襲い、前日の試走では雪の降り続く中に行われた。今年は、ヨーロッパが暖冬であったため、雪レースは初走りであった。例年同様、砂レースを予測し、タイヤもスリックばかりを用意していた。GRIFOは1セットと、後輪1本は持って行って置いて本当に良かった。

コースはスタートし、砂区間から林道のくねくね、自転車では上れない立体交差、オンロードの段差、林道、砂区間からホームストレートという1周が短いコースレイアウト。

今年は海外招待選手3名が来ており、中でもワールドカップシリーズチャンピオン・UCI ランキング1位のケイティー・コンプトン選手が来日しており、注目されていた。

レース当日は、前日とまたコンディションが変わり、気温が上がったので雪が解けドロドロなマッドレースとなった。

レースがスタートし、砂区間に入るが、周りの日本選手が自転車から降りたので



降りざるを得なかった。ケイティは乗っていた。1周目は5番手で走っていたので前の選手が降りるごとに自転車から降りて走った。1周目の折り返しのビーチ区間になると、前の選手がごたごたしていたので交わして3番手まであがる。2周目は、ひたすら前の選手を追った。3周目の立体交差を越えたくらいで、2番手の外国選手に追いつき交わして2番手まであがる。

帰国してすぐであったし、身体が動くか心配ではあったが思っていた以上に身体が動いてくれた。レース中、ピットにタイヤの空気圧を下げるように伝えた。4周目で、ケイティとは40秒差だった。林区間は非常にテクニカルでラインをミスすると、すぐに自転車から降りないといけないので集中して走った。5周目の林区間で、ふっと気をそらせてしまった時があり、前の木に正面衝突してしまいチェーンを落とすが、手でクランクを回すと、上手く上がってくれたのでホッとした。6周目の最終周回、ケイティとの差は90秒に開いていた。3番手の選手とは、30秒以上開いていたのでミスせず前を向いて走るのみであった。



2番でゴールした。レース後は、ケイティと、話を沢山できたので、本当に良かった。シクロクロスシーズン最後のレース、良い走りでも締めくくれた。

9月から始まったシーズン、応援ありがとうございました。

使用機材

自転車	パナソニック
ヘルメット	OGK KABUTO
ステム	dixna
ハンドル	onebyesu
フォーク	onebyesu
バーテープ	dixna
サングラス	adidas eye wear
ウェア	パールイズミ
タイヤ	challenge
サドル	fi'zi:k
シューズ	fi'zi:k
遠征バック	deuter
チェーンオイル	Holmenkol
コンプレッション	2XU
セルフボディケア用品	メソッド

